

採択テーマ：

強固な鍵管理によるデータセキュリティ技術（HSMの技術開発）

事業の目的・概要

- 現状のハードウェアセキュリティモジュール(HSM)※では、中身がブラックボックス化されているという課題や、現在の暗号アルゴリズムでは量子計算機によって現実的な時間で解読されうというリスクが存在する。
- 上記の課題を解決するため、利用者が自律的に暗号鍵を管理するための透明性を備え、強固な暗号アルゴリズムを実装可能なHSMの技術開発を行う。

※：データを解読できないようにしたり、暗号化されたデータを元に戻したりするときに用いる暗号鍵の管理をセキュアに行う物理的なデバイス

実施体制

東芝インフラシステムズ株式会社

事業期間（予定）

2023年7月～2027年3月

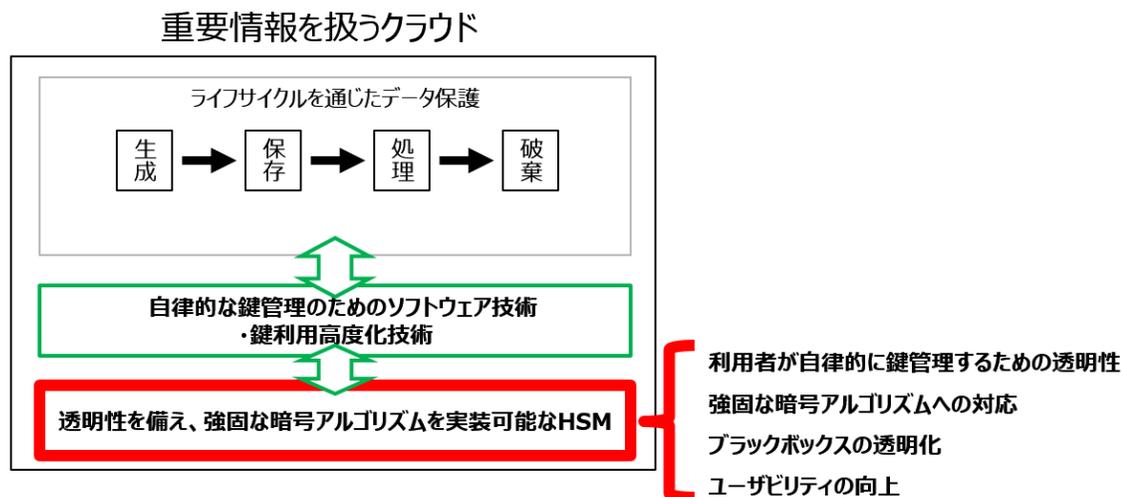
事業規模など

- 事業規模：22億円
- 契約形態：委託事業

主な研究開発内容

- 利用者が自律的に鍵管理するための透明性
- 強固な暗号アルゴリズムへの対応
- ブラックボックスの透明化
- ユーザビリティの向上

事業イメージ（全体像）



出典：内閣府・経済産業省「ハイブリッドクラウド利用基盤技術の開発」に関する研究開発構想